

鶴の鳴き声が聞こえる 京都のまちで歴史散歩

近畿地方

基盤の目のように整備された京のまち。見どころもたくさん。お寺や神社、お祭りも見たいね。
 京都駅 上賀茂神社 までのコース、清水寺 までのコースがあるよ。京都をくまなく歩いてみよう。妖怪たちとの出会いも楽しんでね。



めいろうにいた妖怪は？

算盤小僧

ある寺のカヤの木の下の夜中に人が通ると、算盤をはじくような音を鳴らす。計算をまちがえて和尚に叱られ、その木で首を吊った小坊主の亡霊。

ぬっぺらぼう

目、鼻、口、耳のない巨大な顔の化けもの。この妖怪におそわれた者の衣服には、けもののような太い毛が何本もついていてたという。正体は不明。

輪入道

炎に包まれた牛車の車輪の真ん中に入道の首がついた妖怪。見た者の魂を抜いていく。「此処は勝母の里」と書いた紙を家の出入口に貼っておくと近づかないといわれる。

近畿地方にすむ妖怪たち



髪切り



肉吸い



鉄鼠



おさかべひめ



ヒダル神



一本踏鞠

鵄

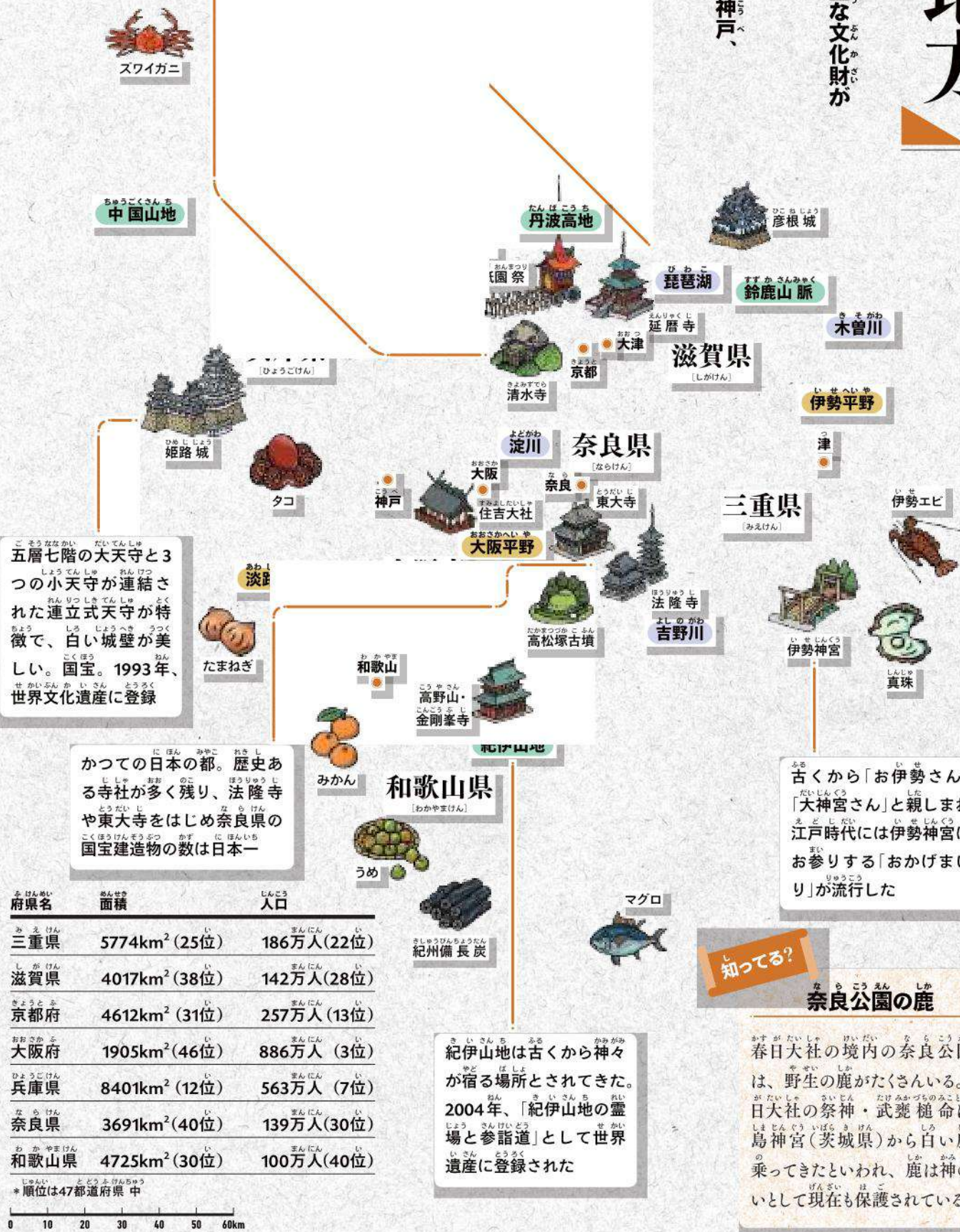
サル顔、タヌキの体、トラの手足、ヘビの尾を持つ妖怪。翼がないのに空を飛び、夜になるとトラツグミに似たあやしく不気味な声で鳴くという。平安時代、貴族たちはこの声が聞こえるとお祓いをしたそう。

近畿地方

古代から国の中心だった奈良や京都を中心に、貴重な文化財が数多く残されています。お笑いなど上方文化を発信してきた大阪、港町の神戸、信仰を集めた紀伊山地、風光明媚な琵琶湖や日本海沿岸などは、時人々をひきつけています。

琵琶湖の美しい風景から8か所を選んだものを「近江八景」とよぶ。絵画や文学にも取り入れられている。

山の斜面にせり出すように築かれた本堂は、多くの柱で支えられ、「清水の舞台」とよばれている。



知ってる？

奈良公園の鹿

春日大社の境内の奈良公園には、野生の鹿がたくさんいる。春日大社の祭神・武甕槌命は鹿島神宮(茨城県)から白い鹿に乗ってきたといわれ、鹿は神の使いとして現在も保護されている。

紀伊山地は古くから神々が宿る場所とされてきた。2004年、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された。